

科目名	子どもの保健Ⅲ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2	前期			
担当者名	谷川 和子	関連する資格	保育士資格 必修				
授業概要 子どもの保健活動、疾病予防、事故防止、安全管理など健康と安全について、演習を通して学ぶ。							
到達目標 1. 保健活動計画の適切な立案、保健だよりの作成ができる。 2. 子どもの健康を評価する方法の理解と実施ができる。 3. 乳幼児の養護の方法を理解し、実施できる。 4. 救急時の対応や事故防止・安全な保育環境づくりができるようになる				成績評価方法 ・定期試験 50% ・小テスト 10% ・宿題、レポート 5% ・演習 30% ・学習に対する態度 5%			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験 (中間・期末)	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート	○	○					5
宿題、授業外レポート	○	○	○				5
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○		30
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション 子どもの健康と保健活動の意義 保育者の健康管理、手洗い				演習「手洗い」			
2) 乳児の理解と扱い 抱き方、衣服の着脱、排泄の世話				演習「抱き方、衣服の着脱、おむつ」			
3) 子どもの健康の指標 身体計測と評価				課題「身体計測」			
4) 子どもの健康の指標 バイタルサインの測定				演習「小児の観察の実際」			
5) 子どもの健康の指標 発達評価				演習「事例を用いた評価」			

6) 乳幼児の身体の清潔 乳児の沐浴、子どもの清潔習慣の獲得	演習「沐浴」
7) 乳幼児の歯の健康	歯磨き指導について考える
8) 子どものケア 健康観察、急な病気、感染症、事故などへの対応	事例を考える
9) 子どものケア 薬の扱い方、罨法	演習「罨法」
10) 子どものけがの応急手当て 切傷、打撲、骨折	演習「応急手当の方法」
11) 子どものけがの応急手当て 熱傷、熱中症、誤飲、その他	グループワーク「事件事例 検討」
12) 心肺蘇生法	演習「一次救命処置」
13) 集団保育と保健 保健活動計画の作成と評価、保健だより	演習「年間保健活動計画、 保健だより作成」
14) 保育における環境衛生 保育室、施設・設備、プールの衛生	演習「保育室の設備と衛生・ 安全管理」
15) まとめ、保健だより発表	まとめの意見交換
授業外学習	
<p>予習：子どもの保健Ⅰ、子どもの保健Ⅱで習ったことを確認し復習してきてください。 復習：知識の確認と演習においてはイメージトレーニングをしましょう。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「子どもの保健演習ガイド」高内正子編著（建帛社）	子どもの保健Ⅰ、子どもの保健Ⅱ
備考	
【オフィスアワー】毎回の授業終了時に行います。	